

# 多摩

NPO法人 食事サービス  
「加多厨」理事長  
島田 容子さん 61

たま  
tamabito

## 地域の健康「弁当」で応援



この日の献立は、ロールキャベツにエビとブロッコリーのサラダ、コンニャクのピリ辛煮など。ロールキャベツは、前日の夕方まで「残業」して下さらせた。今年5月に理事長になった後、後週3〜4回、調理リーダーを務める日課は変わらない。

◆ 加多厨(042・636・4095)は八王子市絹ヶ丘に事業所がある。会員制(会員登録料と年会費は各1000円)で、1食700円。会員の状況により、きざみ食、おかゆ、魚の骨抜きなどにも応じる。

加多厨の活動は、買い物や炊事、一人暮らしで栄養の偏った食事が困難な高齢者や障害者らに弁当の昼食を作って自宅へ届ける配食サービスだ。八王子市南部の住宅や団地を中心に、地元に住むスタッフ総勢20人で日曜日を除く毎日、1日平均約150食を届け続けている。会員465人(3月31日現在)の95%超が60歳以上で、半数は一人暮らしだという。

19年目に入った加多厨は、ともに生協活動に携わっていた仲間が出資し合って始めた事業だから、活動内容などは以前から知っていた。しかし、自ら参加したのは7年ほど前からだ。「子どもの教育費もかかる頃。収入が得られ、やりがいもある働き口を探していたら、誘われた」。小中学校で家庭科教諭をした経験もあったため、調理の仕事ならできるだろうとも思った。

食の大切さは以前から分かっていた。しかし活動に参加し、一人暮らしで栄養の偏った食事が取っていなかった高齢者が、加多厨の弁当で健康を戻したことを知り、さらに感じた。5台の軽自動車に、孤立していた高齢者が、タッフが1軒ずつ配達する中で、つながりを取り戻したこともある。「お陰様にて94歳も迎えられそうです」。言葉は、心の宝物だ。

大手の配食サービス業者が入し、より安価な弁当に押されて、事業運営は厳しさを増している。東日本大震災以降、粗宅や施設に身を寄せるお年寄が増えたこともあり、配食救済も、「私たちの活動は、生きうえで最も基本的な『食』で地域社会を支えること。地域のにされる存在としてもっとを張っていきたい」と、事業充実させる意欲を語った。

(小沢克也)

【支局】  
立川 〒190-8540  
立川市曙町1-27-10  
電話 042-523-4477  
Fax 523-4478  
メールは tachika  
wa@yomiuri.co  
mへ  
八王子 〒192-8536  
八王子市本町24-8  
電話 042-622-7161  
Fax 622-7164  
町田 〒194-0021  
町田市中町2-4-14  
電話 042-723-3661  
府中 〒183-0026  
府中市南町4-40-33  
電話 042-351-4141  
【通信部】  
梅0428-21-4015  
生042-551-0540  
長村山042-392-1121

購読、配達  
八王子 644-6538  
立川北部 548-3387  
立川東部 525-2266  
立川西部 595-9128  
町田 362-5032  
府中 722-7746  
八王子 22-2937  
立川 551-1110  
町田 395-4311  
府中 581-7224  
八王子 325-6184  
立川 541-0276  
町田 471-0053  
府中 561-0077  
立川 562-2703  
町田 321-0986  
府中 375-9424  
立川 350-6260  
町田 572-3931  
府中 491-1022  
立川 558-1843  
読者サービス部 042-524-0435  
読者センター 0120-03-4343  
読者旅行 042-523-1491

自然とらふぐ  
ふぐ  
専門

一 飯島町高日市ノ裏野区戸  
一 本ノ沢城塚坂東市